



日本共産党市議会議員 中野あきと・事務所ニュース

みどりと清流

第104号

中野あきと事務所

〒191-0041 日野市南平7-6-72

TEL・FAX 042-599-3350

発行責任者 小林 進

2010年

11月発行

http://www.ab.cyberhome.ne.jp/~nakanohp/

しん 赤旗 ぶん

日刊紙1ヶ月 2900円

日曜版1ヶ月 800円

お申し込み 党南多摩事務所

TEL 042-374-4384

または中野事務所へ

法律・生活相談など

お気軽にお立ち寄り下さい



市民の生活と営業への支援を最優先に

中野あきと

党市議団が市長に来年度予算要望書を提出

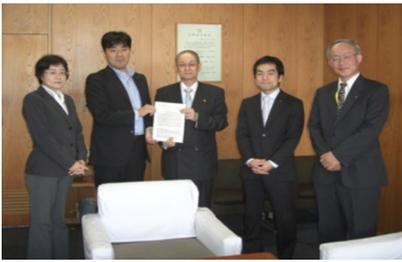
長引く不況で雇用の回復はすすまず、この一年で勤労者の収入はさらに落ち込みました。こんなときにこそ、市民生活に直接関わる自治体の役割がますます大切です。

いま、保育園待機児童、特養ホーム入所待ちの事態は深刻です。確かにこれらの施設の増設には相当の財政負担が伴うのも事実です。しかし、市民の生活を守る上で絶対に必要なものです。

一方、こうした施設の増設は、地域経済の拡充や雇用の確保などに一石二鳥、三鳥の効果も生まれます。そうした視点で積極果敢に取り組みべきです。

限られた財源を有効に活用するためには、川辺堀の内などの新たな区画整理など、従来型のまちづくりについても、市民参加で抜本的に見直す必要があります。

来年度の予算編成にあたり日本共産党市議団は「財政の厳しさを理由に市民へのこれ以上の負担増は行わず、ひつ迫する市民の生活と営業への支援を最優先にする」という、馬場市長に対する「重点要望書」を提出しました。



要望書を提出する日本共産党市議団

「重点要望書」の項目と概略

- ① 高齢者、障害者のくらし安心
特養ホーム等の増設、保険料や利用料の減額免除制度の抜本的な拡充、障害者のコミュニケーション支援等への時間制限の撤廃…
- ② 保育・子育て支援
保育所増設計画の見直しで待機児童の解消。ひのつちの運営経費を増やし、夏休み中の実施及び、体制の充実を図ること…
- ③ 教職員の配置の充実、ゆきとどいた教育を
多摩平地域に小学校の新設。三沢中に第二体育館の建設。30人学級の実施へ施設整備を進めること。二中の校舎建替えの早期実施。普通教室へのエアコン設置、学校トイレの全系統の洋式化を早期に図ること…
- ④ くらしを支える制度、格差・貧困の是正
国保税の値上げは行わないこと。国保税及び窓口負担の軽減制度の改善・充実、周知徹底。就学援助基準の拡大・充実。修学旅行の保護者負担の軽減…
- ⑤ すみよいまちづくり
生活道路の補修予算の抜本的増額。多摩平への大型商業施設誘致の見直し。ミニバスの収支の検証と路線の充実。住宅耐震補強助成金の増額。公園の遊具の改修・充実…
- ⑥ 農業・商工業など地元産業の振興
地元の中小企業を守り育む公契約条例の制定。市内商店街・商店の実態調査。実効性のある商店街振興策の策定。
- ⑦ 地域医療計画の策定、市立病院の充実
市民の医療に対するニーズ調査を行い、「病・診」連携のあり方、市立病院の役割などを検討し、安心できる地域医療計画を策定する。
- ⑧ くらし優先の効率的・民主的行政運営
市民生活と営業の実態の把握、人口減少時代のまちづくりの課題の見直しを行い、市財政の厳しさのみを強調する第四次行革大綱中間報告書の抜本的な再検討を行う。

短信

先月、市内で大規模な断水があった。こんな事故の不意打ちに会うと、的確な情報提供が大切なことを改めて感じる▼午前8時半ごろ水道が止まる。しばらく待ったが水は一向に出てこない。窓を開け防災放送を待ったが、連絡は何もない。やがて消防車が巡回して来たが「ただいま断水中」の繰り返しだけ。ならばと、日野市のホームページを見ても同様のお知らせだけである▼水が出ないのだから、断水は「承知なのだ。長く掛かるのか、すぐ直るのか。我が家は洗濯とトイレ掃除の最中。これでは予定が立たない。原因は何なの。言ってくれば大よその判断はつこうというものなのに▼後日、市の防災課に、この日の対応を聞いてみた。防災放送は直後の一回だけ。あとは広報車と消防車の巡回に切り替えたそう。防災放送だけでは聞き漏らしがあるからだという。だが、「断水中」という以上の情報は流してはなかったとのことだ▼はたして市としての対応がこれで十分だったのか。断水事故のマニアルはあるのか。影響を受けた者の立場から要望を伝えた。「参考になりました」という答えに期待したい。(R)

第4次行革

人員削減の中心は 子ども・教育に集中



「公報」で発表された馬場市長の第4次行革。その中心テーマの一つが100名の職員削減です。すでに第3次行革では150名の職員が減らされましたが、その圧倒的多数は学校事務職員、給食調理員、用務員など学校職員でした。第4次行革での職員削減のターゲットもまた、子ども達に対するサービス部門に集中しています。

「公報」で発表されたことを、これまで市教育委員会も答弁で強調してきました。そのため1校ごとに栄養士も配置されてきた経過があります。

小学校給食調理は、現在半数の学校で民間委託化がすすみ、残りの半数が直営です。第4次行革では、残った半数の直営校で民間委託化をすすめるとともに、1校1名の栄養士配置も「成果について検証」が必要だとされています。行革推進本部分行政部会では、「直営方式は自己満足」「複数センターで運営すればよい」などの意見も出される中で、たった一日の審査が行われただけでした。

市教委が、給食を支える柱だとしている栄養士の各校配置に対する議論としては、あまりにも安易ではないでしょうか。

日野市の学校給食は、一つは自校直営（学校での調理）方式と、もう一つは地産地消（地元野菜の活用）ということで実施され、日本一といわれる日野の学校給食がつく

られてきたことを、これまで市教育委員会も答弁で強調してきました。そのため1校ごとに栄養士も配置されてきた経過があります。

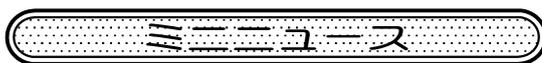
小学校給食調理は、現在半数の学校で民間委託化がすすみ、残りの半数が直営です。第4次行革では、残った半数の直営校で民間委託化をすすめるとともに、1校1名の栄養士配置も「成果について検証」が必要だとされています。行革推進本部分行政部会では、「直営方式は自己満足」「複数センターで運営すればよい」などの意見も出される中で、たった一日の審査が行われただけでした。



平山6丁目の生コン工場問題

「移転もしくは廃業まで最長で5年かかる」としていた生コン事業者が、「最長2年に期間短縮」「平成24年6月30日をもって業務完全停止を致します」と回答し、事態が進展しました。日野市が出した勧告書を受け、事業者が9月30日付で「再是正計画書」を市に提出、その中で期間短縮の意思表示が行われたものです。

この問題は20年にもわたって生コン工場の操業によって騒音・振動・粉塵被害に苦しめられてきた住民が一致結束して立ち上がり、違法建築の是正権限をもつ日野市の責任を問い、法的な措置も含めて毅然とした対応を求めてきたものです。事態の進展も踏まえつつ、早期全面解決へ住民のみなさんと日野市との話し合いが進められています。



【西平山5丁目のミニバスの順路見直しについて】

ミニバスの順路変更により、旭が丘循環路線は、市立病院と市役所へ直接行けず、豊田駅で乗り換えになりました。西平山5丁目地域の自治会から「今まで通り乗り換えずに行けるように」と9月議会に請願が出され、全会一致で採択されました。10月14日に西平山5丁目地域で、説明会が行われ、市から「再編実行が迫っているため新たな順路でやらせてほしい」「施行していく中で次の見直しの2年後を待たず検討したい」などの説明がされました。

【区画整理懇談会開かれる】

中野あきと市議を助言者とする東・西平山地域および豊田地域の区画整理懇談会が、10月9日にそれぞれ開催されました。「区画整理の流れ」などがプロジェクトを使って説明され、活発な質疑応答がされました。



市民の森ふれあいホール建設 地元業者・地域経済の 活性化はどこへ

市長は、ふれあいホール建設計画の凍結を解除し、建設を行いたいとした一昨年の議会で、「市内企業等にも活力を与える取り組みが重要である」と、市内業者の仕事確保による活性化につながることを強調しました。

ところが実際には、建築工事をはじめほとんどの工事案件に地元業者が落ち・契約できなかつたことが明らかにになり、これには与党議員の中からも、「市内企業の活性化に繋がるという視点はなかった。反省すべき点があった」との苦言が出されています。

中野議員は決算の反対討論であらためてこの問題に言及、「09年度の工事契約総額が26億円の中で、17億円あまりも占

める『ふれあいホール』建設工事、なぜ地元業者の仕事確保や地域経済の活性化につなげることができなかったのか」「巨費を投じて建設する以上は、地元経済の活性化に繋がる最大限の手立てをとってしかるべきだった」と指摘。市が入札制度として採用している総合評価制度の改革、公契約条例の制定を提案しました。日本共産党市議団は、ふれあいホールの建設が具体的に行われることとなった時点で、①無駄を省き経費削減に努めること。②障害者のみなさんをはじめすべての市民が利用できるユニバーサルデザインの施設を。③市内経済の活性化につなげる。などの立場にたつて必要な対応・提案を行ってきました。

《10年12月の無料法律相談》
市役所6階 共産党控室 午後1時～3時
12月 9日(木)
※予約が必要ですので、お申し込み下さい。

「感想・ご意見をお寄せください」